

2017年3月期（第20期） 決算説明会

2017年5月16日

株式会社バイ・テクノロジー

代表取締役社長 杉本重人

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢の変化、競争環境の変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

目次

- ・ 決算概要
- ・ 事業環境
- ・ トピックス
- ・ 業績見通し
- ・ 中長期の経営方針

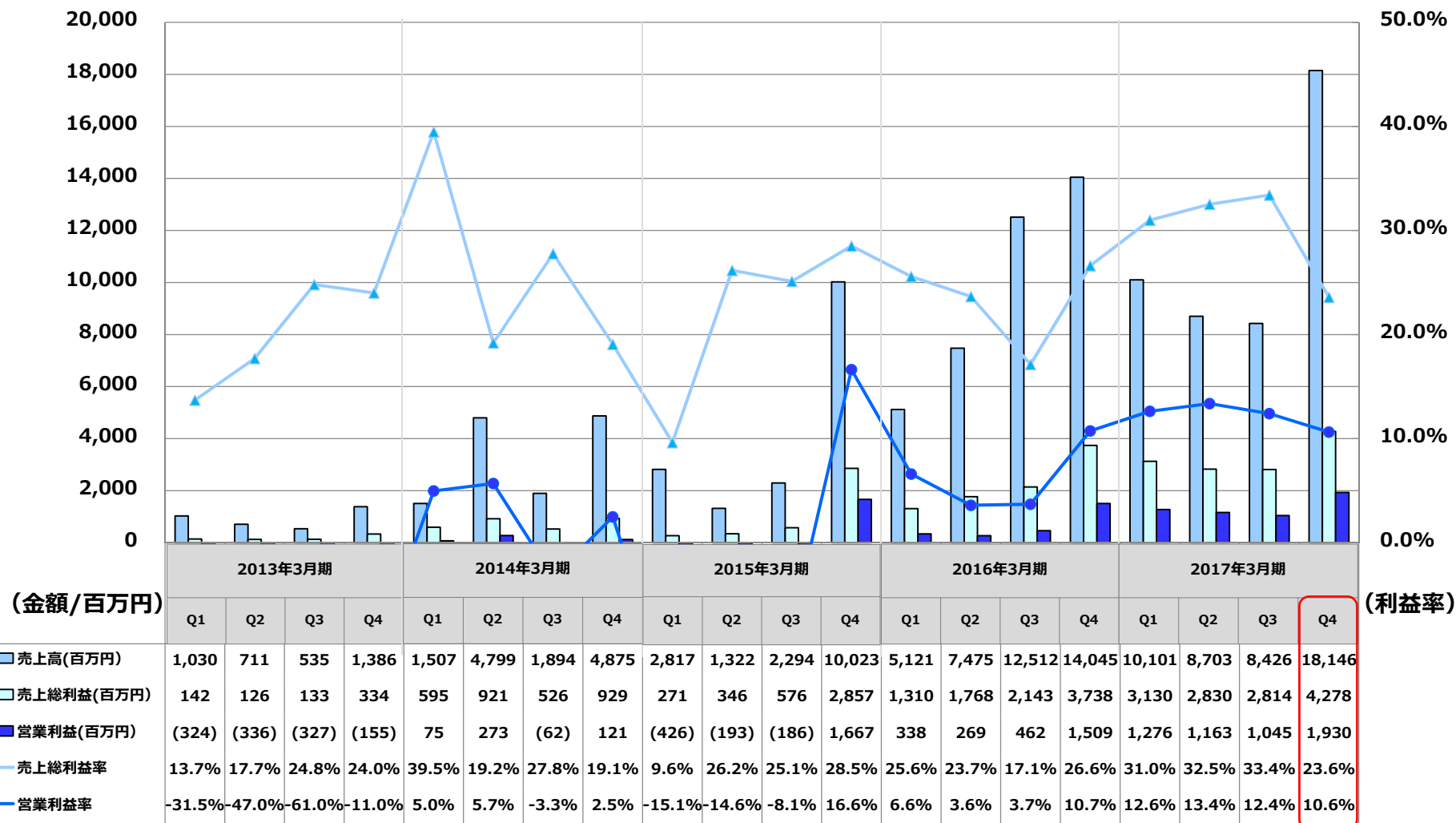
決算概要

連結業績（前期比）

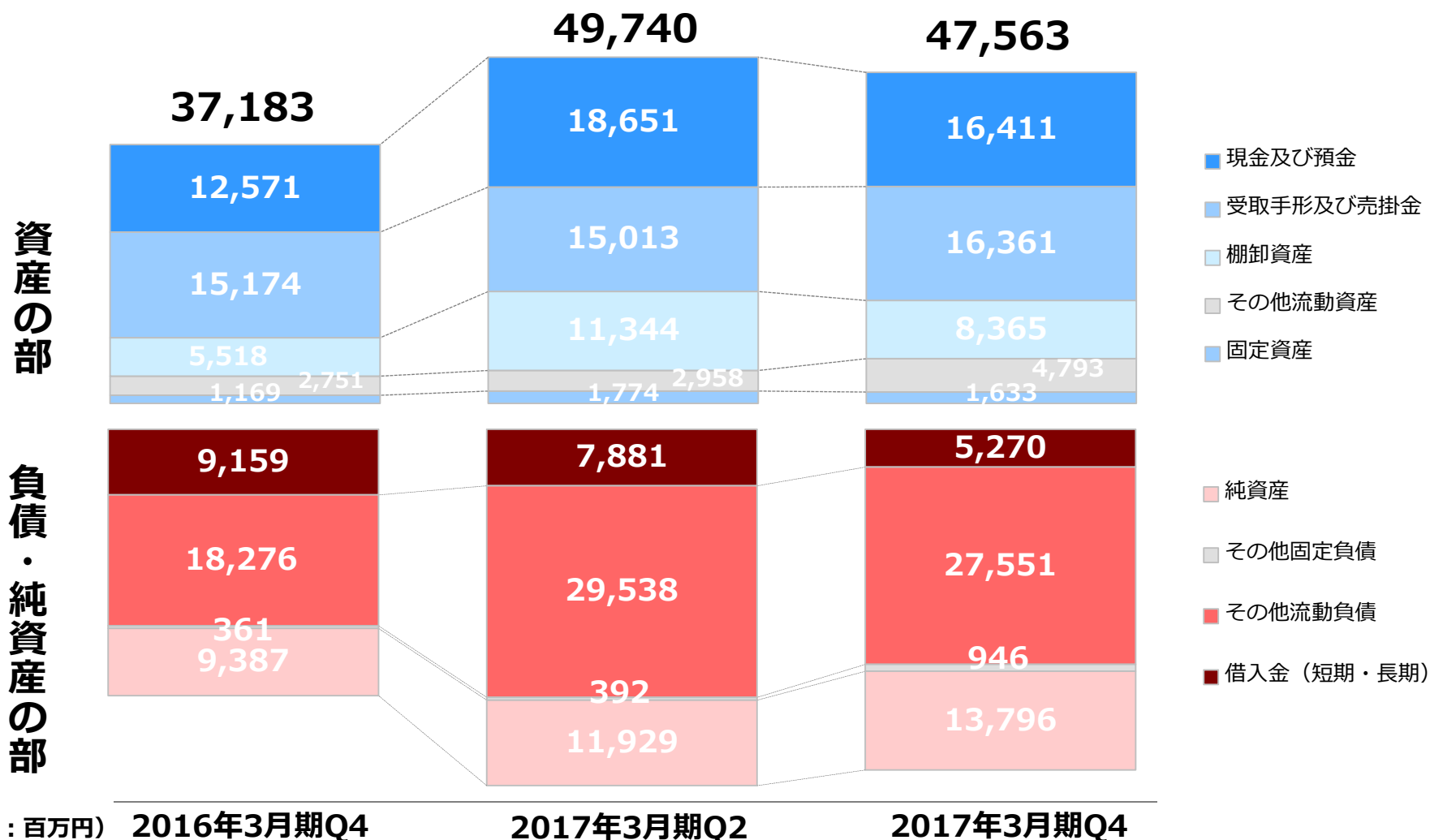
	2016年3月期（第19期） 累計期間		2017年3月期（第20期） 累計期間		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	39,153	—	45,376	—	16.8%
売上総利益	8,959	22.9%	13,052	28.8%	45.7%
営業利益	2,578	6.6%	5,414	11.9%	110.0%
経常利益	2,235	5.7%	5,406	11.9%	141.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	989	2.5%	2,813	6.1%	184.4%

一株当り当期純利益	209.46円	577.48円	+368.02円
-----------	---------	---------	----------

四半期毎連結売上高・利益の推移



連結貸借対照表の推移



(単位：百万円)

2016年3月期Q4

2017年3月期Q2

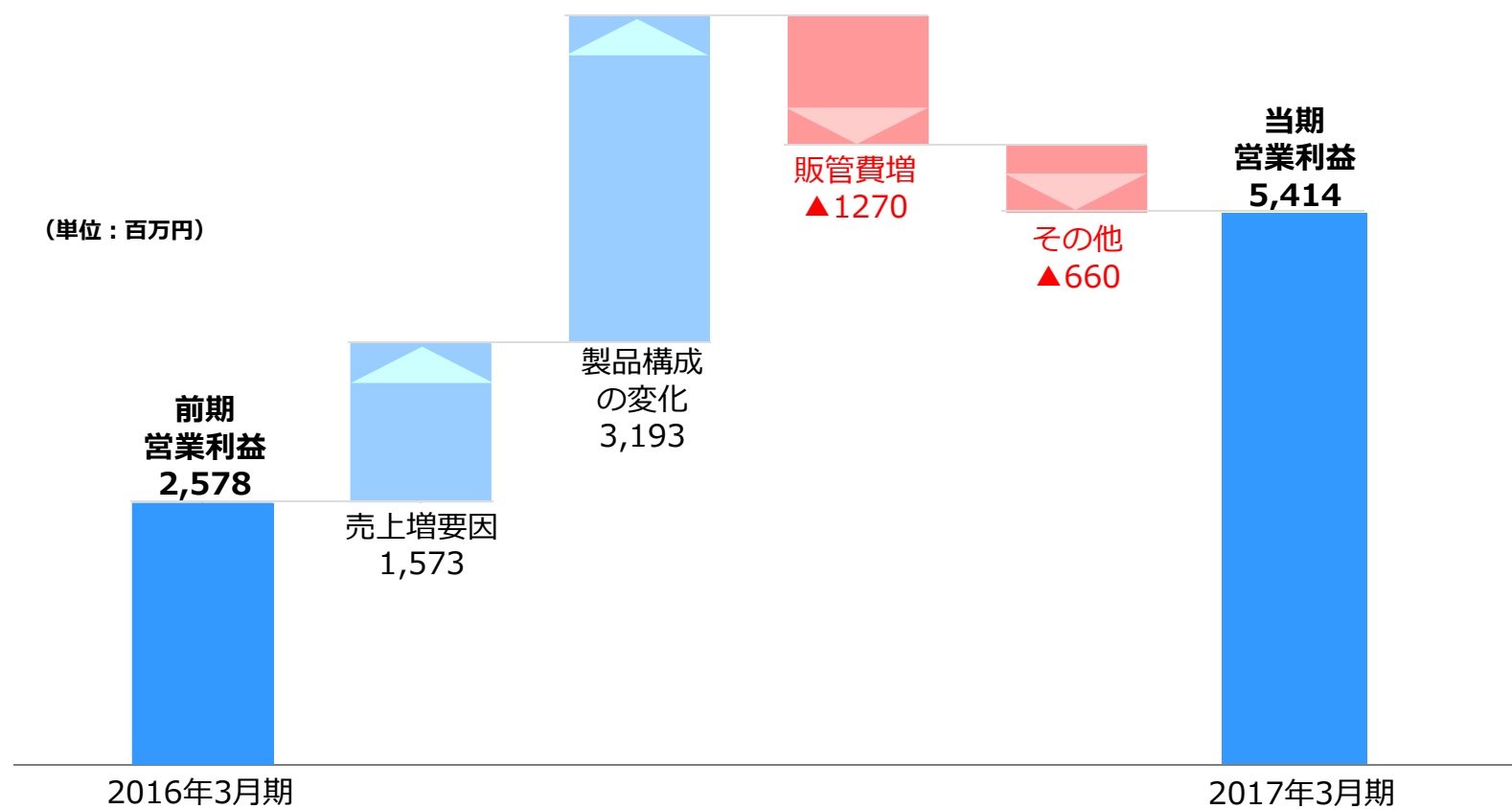
2017年3月期Q4

連結キャッシュフローの推移

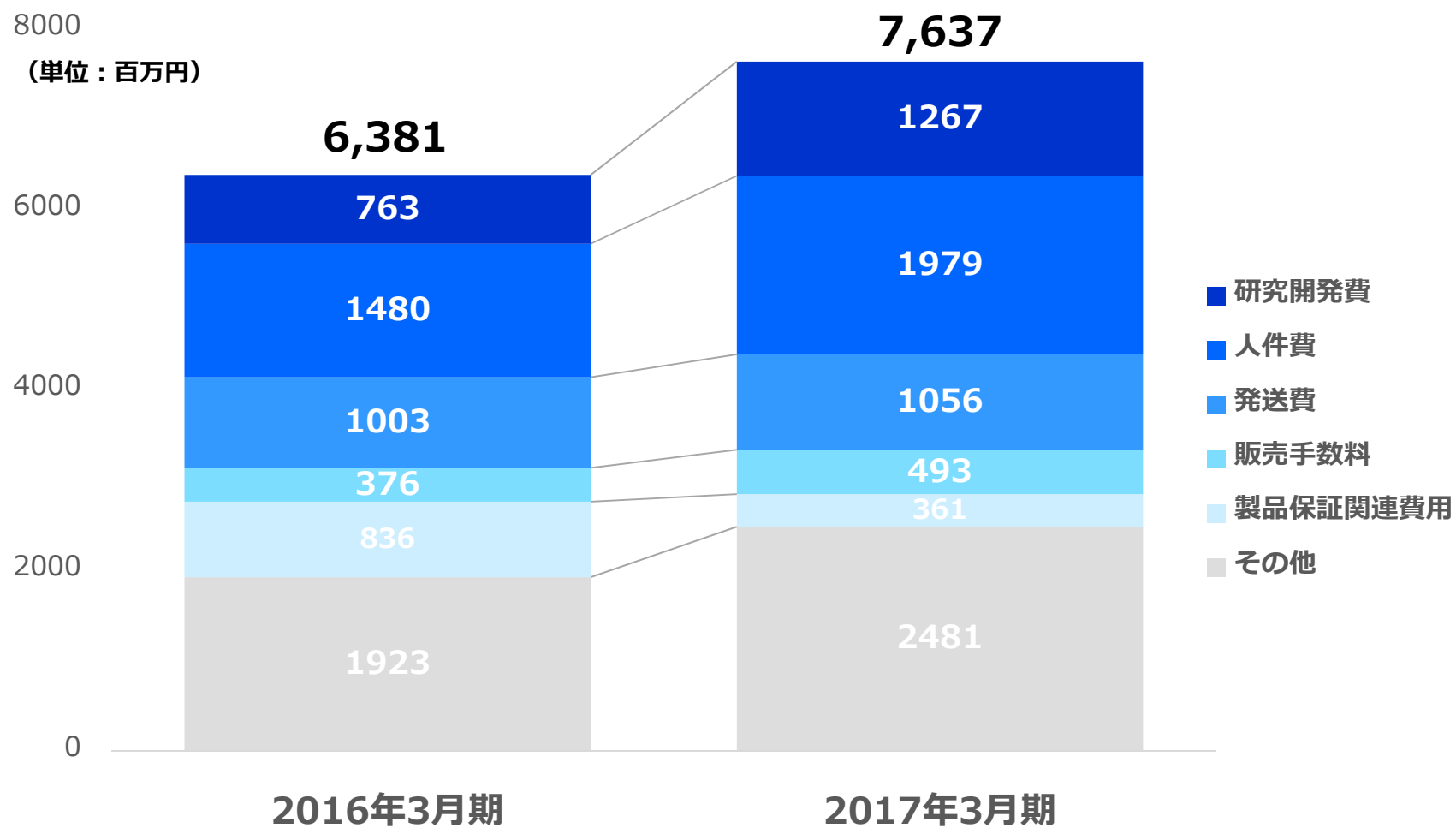
		2016年3月期Q4	2017年3月期Q2	2017年3月期Q4
営業活動による キャッシュフロー	税金調整前純利益	1,796	2,175	5,606
	売上債権（増加▲）	▲1,289	489	1,598
	棚卸資産（増加▲）	711	▲856	2,238
	仕入債務（減少▲）	1,497	▲1,463	▲1,331
	その他	2,810	6,277	▲859
	Total	5,525	6,622	7,252
投資活動によるキャッシュフロー Total		▲445	▲4,246	427
財務活動による キャッシュフロー	借入による収入	15,172	3,608	6,975
	返済による支出	▲11,782	▲5,333	▲10,862
	その他	▲144	414	▲104
	Total	3,246	▲1,311	▲3,991
現金及び現金同等物に關わる換算差額		▲131	▲104	30
現金及び現金同等物の増減核（減少▲）		8,196	960	3,719
期首現金及び現金同等物残高		4,375	12,571	12,571
四半期末現金及び現金同等物残高		12,571	13,531	16,291

（単位：百万円）

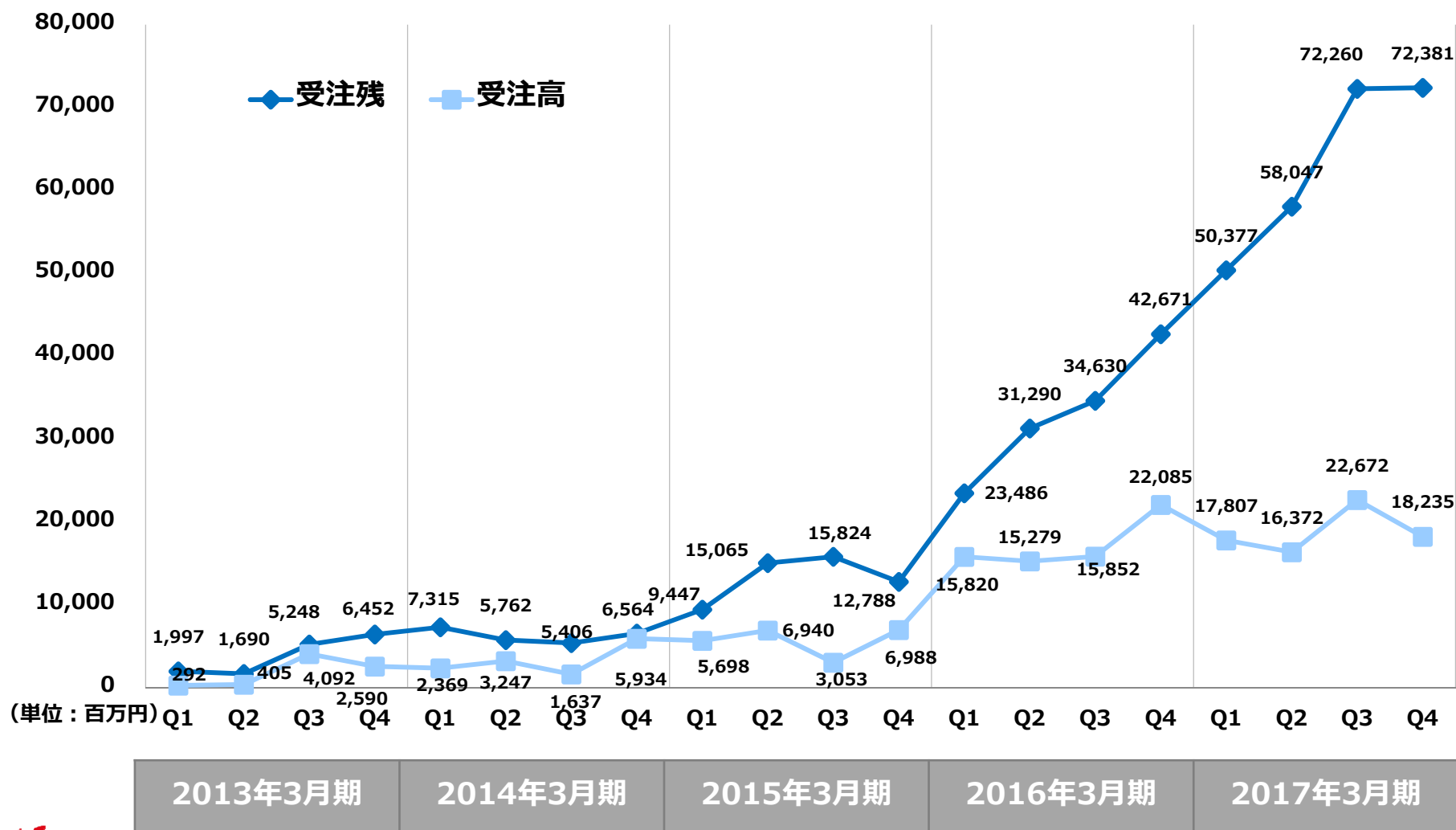
連結営業利益の差異分析



販売費及び一般管理費



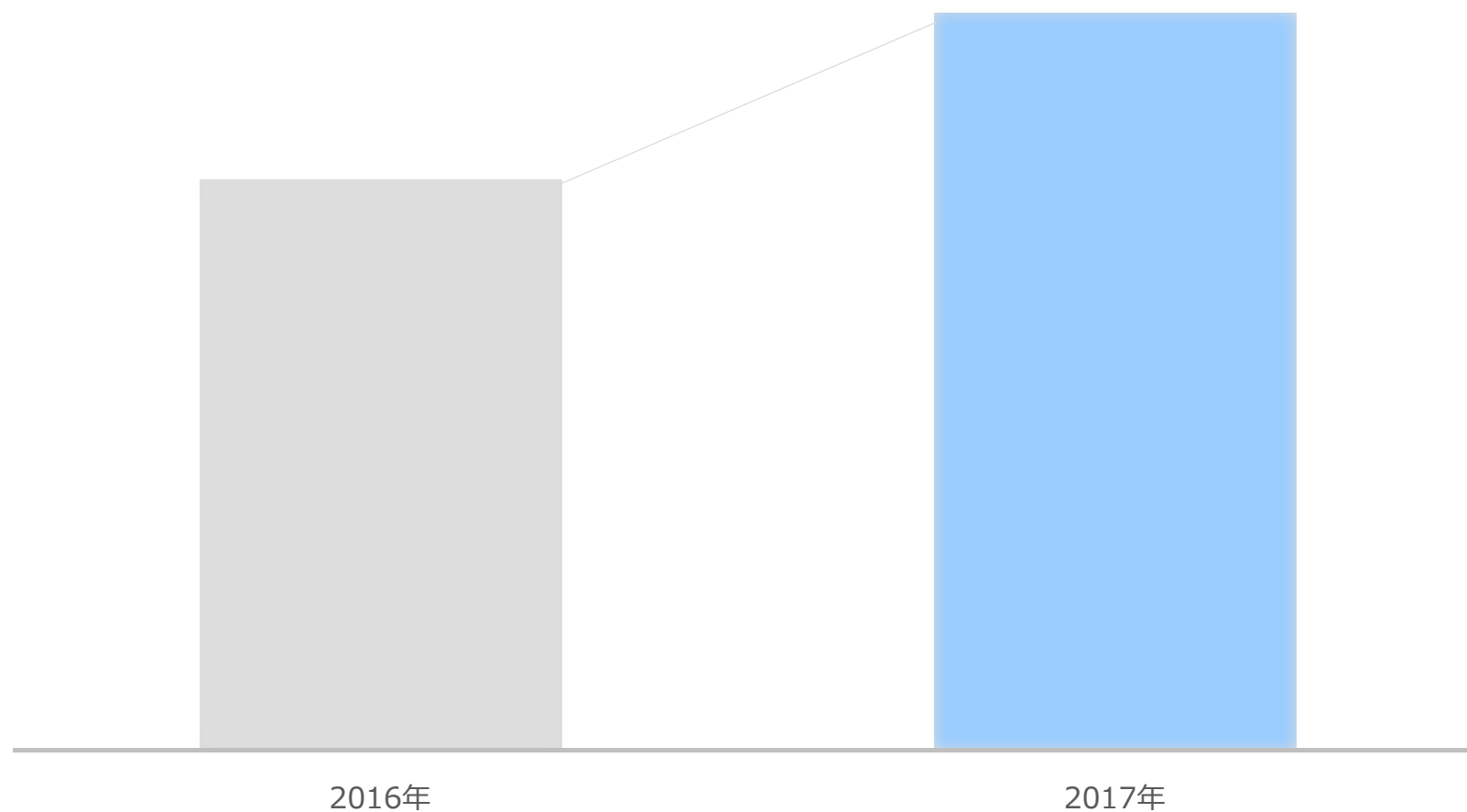
四半期毎連結受注残・受注高の推移



事業環境

FPD製造装置市場見通し

テレビ用パネルの大型化や中小型OLEDパネルに関連した設備投資で市場は前年比で**30%**成長する見通し。



(グラフ) IHS、2017年1月資料より

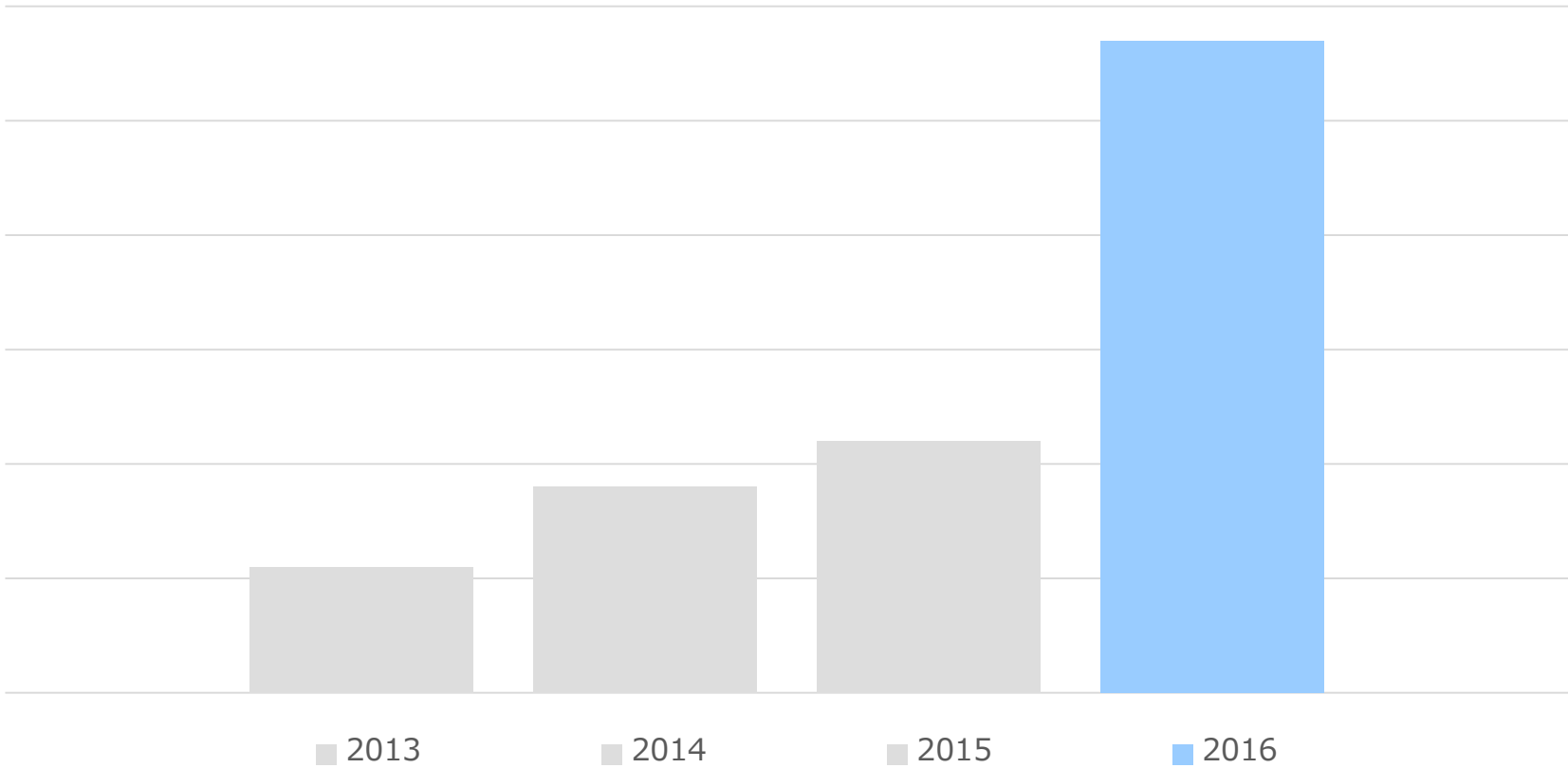
トピックス

OLED（中小型パネル）関連

大型パネル関連

イールドマネジメント(検査)技術（測定装置）

微細化で測定装置の需要急増。



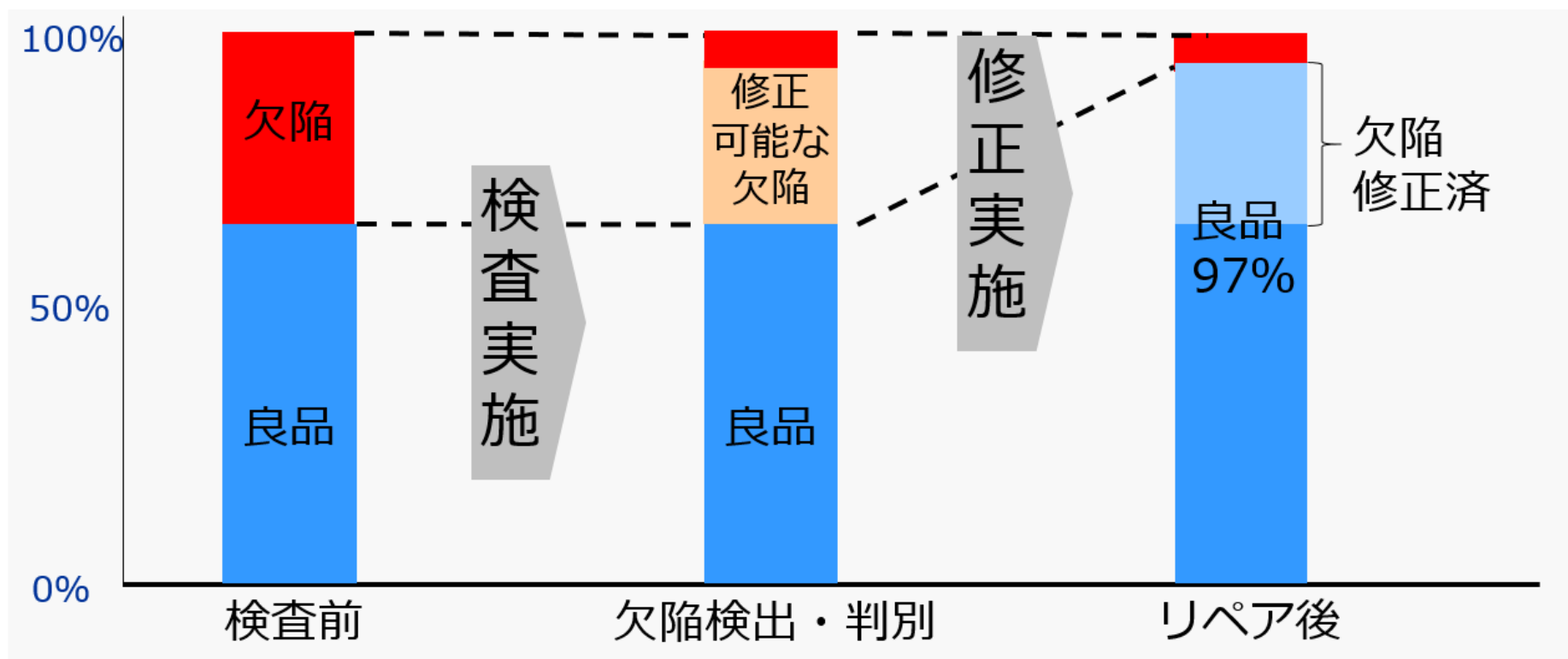
(表) 測定装置売上推移（単位億円）

トピックス

OLED（中小型パネル）関連

大型パネル関連

複合機で欠陥検出率を97%まで向上。



(図) 検査・修正による歩留りへの効果

業績見通し

2018年3月期 業績および配当見通し

2期連続で過去最高となる売上と利益を見込む。また市場成長率を越す売上となる見通し。

	2017年3月期実績		2018年3月期見通し (2017年5月15日)		YOY成長率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	45,376	—	70,000	—	54.3%
営業利益	5,414	11.9%	10,000	14.3%	84.7%
経常利益	5,406	11.9%	9,800	14.0%	81.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,813	6.2%	4,900	7.0%	75.0%

1株当り当期純利益	565.49円	989.60円	+424.11円
-----------	---------	---------	----------

配当見通し

2018年3月期	(中間) 100円	(期末) 100円	前期比 85円
(参考) 前期実績	(中間) 40円	(期末) 75円	

中長期の経営方針

装置ビジネスからエンジニアリングビジネスへ

FPD事業は、装置ビジネスから、顧客課題をトータルかつ高次元で解決できる**エンジニアリングビジネス**への進化を目指す。

FPD事業（LCD、OLED、Micro LEDなど）

革新的な技術を自社開発で追求

エンジニアリングビジネス（ターンキー/トータルソリューション）への進化

新規事業・・・第二の収益の柱を構築を目指して

半導体、医療分野など非FPD分野への展開

ご清聴ありがとうございました。

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢の変化、競争環境の変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。